

所得税の達人(平成27年度版)from弥生会計

運用ガイド

この度は、「所得税の達人（平成27年度版）from弥生会計」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「所得税の達人（平成27年度版）from弥生会計」は、弥生株式会社の「弥生会計」の会計データを「所得税の達人」に取り込むためのプログラムです。このマニュアルでは、「所得税の達人（平成27年度版）from弥生会計」のインストール手順や操作手順について説明しています。



目次

1.対応製品	3
2.動作環境	4
3.インストール手順	5
パターン①「達人Cube」からアップデートする場合	5
パターン②「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合	9
4.運用方法	11
パターン①「弥生会計」と「所得税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合	11
パターン②「弥生会計」と「所得税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合	12
5.操作手順	13
パターン①「弥生会計」と「所得税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合	13
パターン②「弥生会計」と「所得税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合	18
6.連動対象項目	24
「弥生会計」から連動するデータ（連動元）	24
「所得税の達人」に連動するデータ（連動先）	25
青色申告決算書（一般用）営業所得／その他所得	26
青色申告決算書（不動産所得用）	28
青色申告決算書（農業所得用）	30
収支内訳書（一般用）営業所得／その他所得	31
収支内訳書（不動産所得用）	32
7.アンインストール方法	33
8.著作権・免責等に関する注意事項	34

1.対応製品

「所得税の達人（平成27年度版）from弥生会計」に対応するNTTデータの対応製品及び弥生の対応製品は以下のとおりです。

対応製品	対応アプリケーション
NTTデータ対応製品	所得税の達人（平成27年分版） Professional Edition
	所得税の達人（平成27年分版） Standard Edition
弥生対応製品	弥生会計 16 AE
	弥生会計 16 スタンダード
	弥生会計 16 プロフェッショナル
	弥生会計 16 プロフェッショナル 2ユーザー
	弥生会計 16 ネットワーク
	やよいの青色申告 16

2.動作環境

「所得税の達人(平成27年度版)from弥生会計」に必要な動作環境は「1.対応製品」(P.3)に記載の「弥生対応製品」と同様です。また、インストールにはハードディスクの空き容量が20MB必要です。



注意

「所得税の達人(平成27年度版)from弥生会計」のプログラムの起動を行うには、「1.対応製品」(P.3)に記載の「弥生対応製品」のいずれかがインストールされている必要があります。

3.インストール手順

「所得税の達人（平成27年度版）from弥生会計」をインストールする手順は、「達人Cube」からアップデートする方法と「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする方法の2パターンあります。



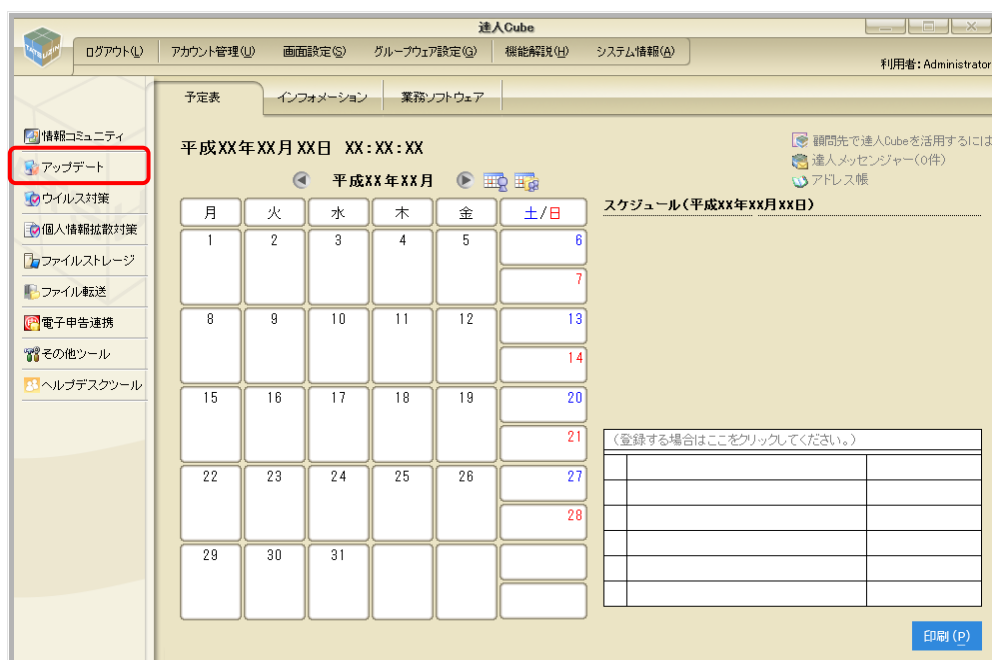
注意

インストール作業中に [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されることがあります。その場合は [はい] ボタンをクリックして作業を進めてください（必要に応じてパスワードを入力します）。

パターン①

「達人Cube」からアップデートする場合

1. 「達人Cube」にログインし、[アップデート]をクリックします。



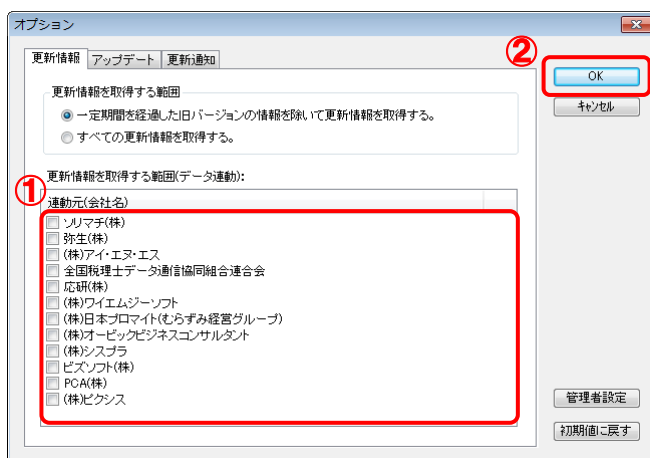
[アップデート] 画面が表示されます。

2. ユーティリティ[オプション]をクリックします。



[オプション] 画面が表示されます。

3. [更新情報]タブー[更新情報を取得する範囲(データ連動)]において該当の[連動元(会社名)]にチェックを付け①)、[OK]ボタンをクリックします②)。



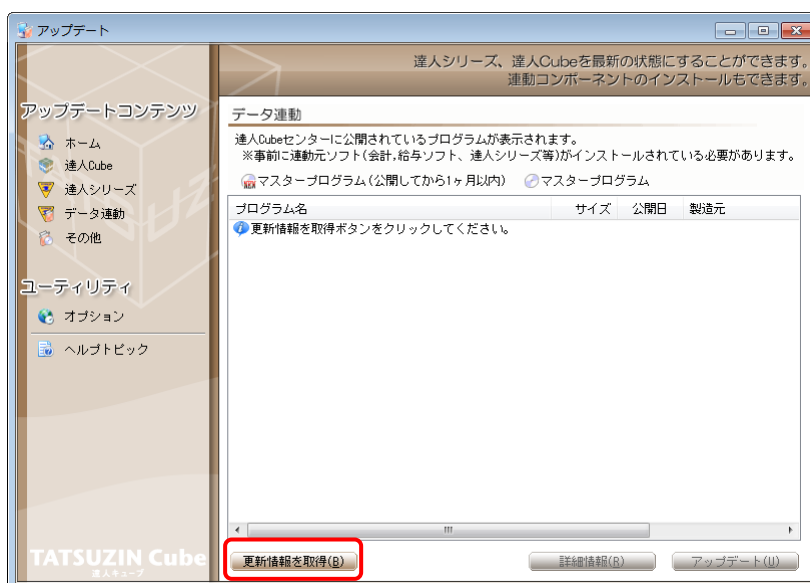
[アップデート] 画面に戻ります。

4. アップデートコンテンツ[データ連動]をクリックします。



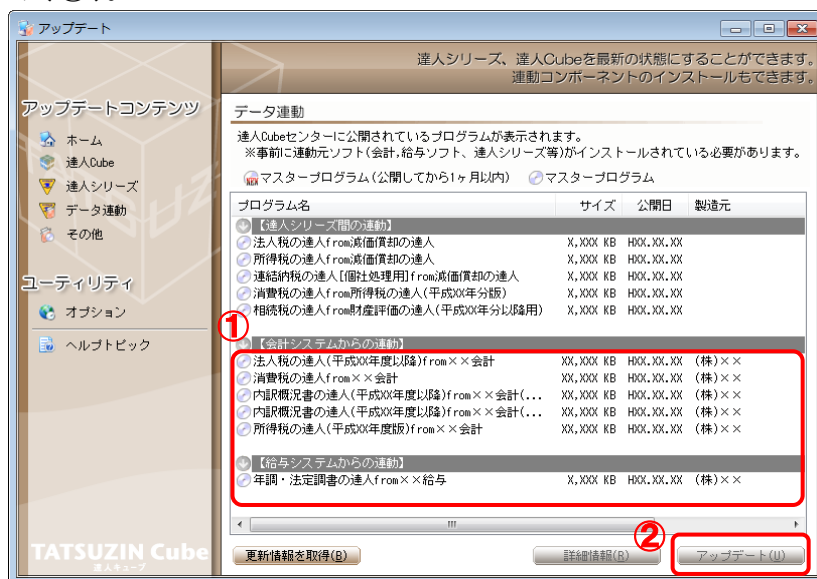
[データ連動] 画面が表示されます。

5. [更新情報を取得]ボタンをクリックします。



連動コンポーネントが表示されます。

6. 該当の連動コンポーネントをクリックして選択し(①)、[アップデート]ボタンをクリックします(②)。



[弥生シリーズセットアップ] 画面が表示されます。

7. [インストール開始]ボタンをクリックします。
[使用許諾契約] 画面が表示されます。
8. 使用許諾契約書の内容を確認し、同意する場合は[使用許諾契約の条項に同意します。]にチェックを付け、[次へ]ボタンをクリックします。
[インストール先の選択] 画面が表示されます。
9. [次へ]ボタンをクリックします。
[プログラムをインストールする準備ができました] 画面が表示されます。
10. [インストール]ボタンをクリックします。
インストールが開始されます。
11. [弥生シリーズセットアップ]画面に戻ったら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「所得税の達人(平成27年度版) from弥生会計」のインストールは完了です。

- 6.** 手順5でダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
[弥生シリーズセットアップ] 画面が表示されます。
- 7.** [インストール開始]ボタンをクリックします。
[使用許諾契約] 画面が表示されます。
- 8.** 使用許諾契約書の内容を確認し、同意する場合は[使用許諾契約の条項に同意します。]にチェックを付け、[次へ]ボタンをクリックします。
[インストール先の選択] 画面が表示されます。
- 9.** [次へ]ボタンをクリックします。
[プログラムをインストールする準備ができました] 画面が表示されます。
- 10.** [インストール]ボタンをクリックします。
インストールが開始されます。
- 11.** [弥生シリーズセットアップ]画面に戻ったら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「所得税の達人（平成27年度版）from弥生会計」のインストールは完了です。

4.運用方法

「所得税の達人（平成27年度版）from弥生会計」は、「弥生会計」のデータから中間ファイルを作成します。

データ取り込みの操作方法は、「弥生会計」と「所得税の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。

パターン①

「弥生会計」と「所得税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

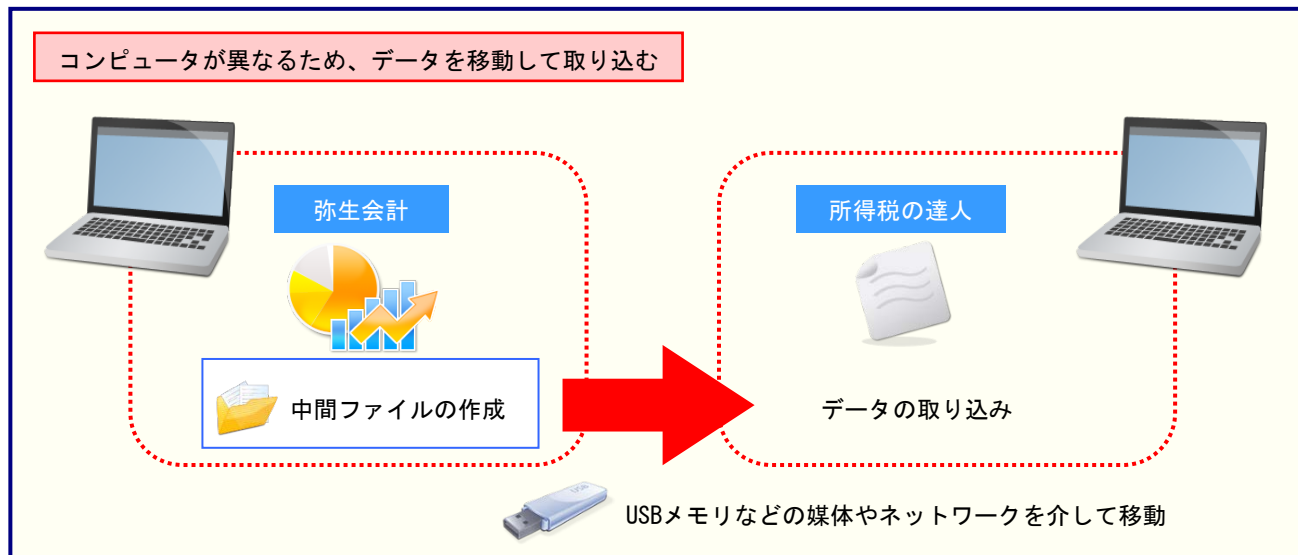
「所得税の達人（平成27年度版）from弥生会計」で作成された中間ファイルを直接「所得税の達人」に取り込みます。



パターン②

「弥生会計」と「所得税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

「弥生会計」がインストールされているコンピュータで中間ファイルを作成し、「所得税の達人」がインストールされているコンピュータで取り込みます。



5.操作手順

「所得税の達人（平成27年度版）from弥生会計」を使って、以下の手順で連動します。

事前に「6.連動対象項目」（P.24）を必ずお読みください。

操作手順は、「弥生会計」と「所得税の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。



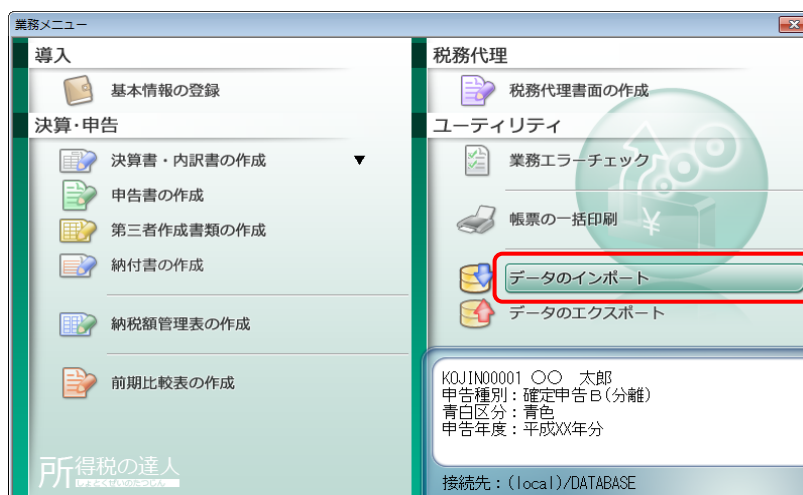
注意

決算書データが正しく作成されていないとエラーメッセージが表示される場合があります。その場合、青色申告決算書又は収支内訳書が、「弥生会計」側で作成、印刷できるかどうかを確認してください。

パターン①

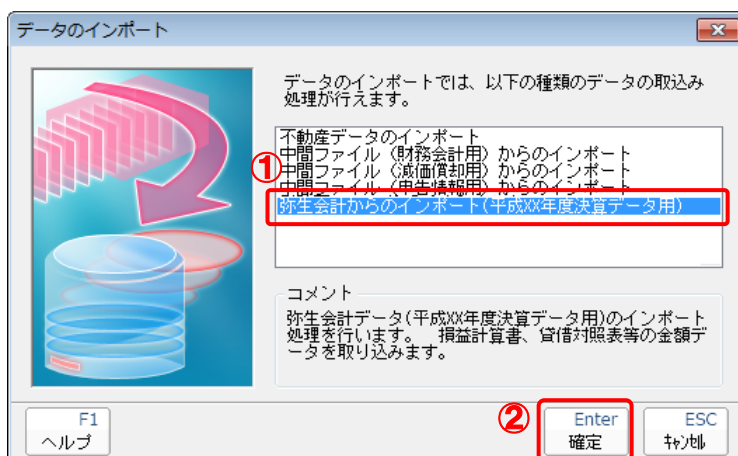
「弥生会計」と「所得税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

1. 「所得税の達人」を起動してデータを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



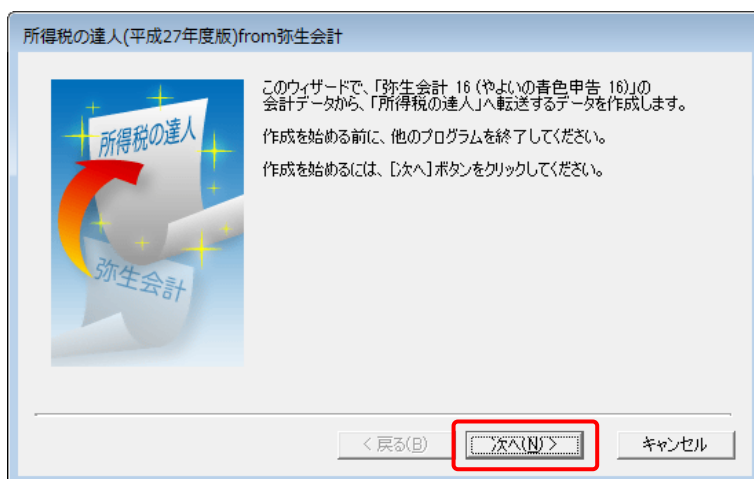
[データのインポート] 画面が表示されます。

2. [弥生会計からのインポート(平成27年度決算データ用)]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



[所得税の達人 (平成27年度版) from弥生会計] 画面が表示されます。

3. [次へ]ボタンをクリックします。



[データの選択] 画面が表示されます。

4. 「所得税の達人」に取り込む「弥生会計」のデータをクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

所得税の達人(平成27年度版)from弥生会計

データの選択
「所得税の達人」へ転送する事業所データを選択してください。

① 事業所データ	会計
〇〇 太郎(平成XX年度)(平成XX年度～平成XX年度).KDXX	XX
株式会社 〇〇(XX期～XX期).KDXX	XX

参照先(L)...

< 戻る(B) ② 次へ(N) > キャンセル

[決算書タイプの選択] 画面が表示されます。

5. 「弥生会計」から出力するデータの決算書タイプを選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

所得税の達人(平成27年度版)from弥生会計

決算書タイプの選択

① 出力する青色申告決算書のタイプを選択してください。

青色申告決算書(一般用)(1)

青色申告決算書(不動産所得用)(2)

< 戻る(B) ② 次へ(N) > キャンセル

[転送データの作成] 画面が表示されます。

※ 画面は「青色申告決算書（一般用）（1）」を選択しています。

6. [作成開始]ボタンをクリックします。

所得税の達人(平成27年度版)from弥生会計

転送データの作成

作成するデータの名称を入力してください。

場所: C:\Users\tatsuzin\AppData\Local\Temp\

名称(N): St14TEMP3

参照(S)...

[作成開始]ボタンをクリックすると、「所得税の達人」へ転送するデータを作成します。

< 戻る(B) **作成開始** キャンセル

[転送データの作成完了] 画面が表示されます。

7. [完了]ボタンをクリックします。

所得税の達人(平成27年度版)from弥生会計

転送データの作成完了

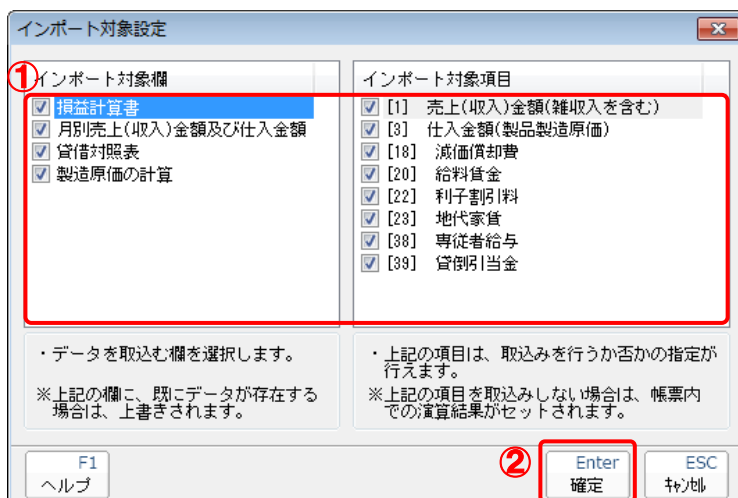
「所得税の達人」へ転送するデータの作成を完了しました。

[完了]ボタンをクリックしてください。

< 戻る(B) **完了** キャンセル

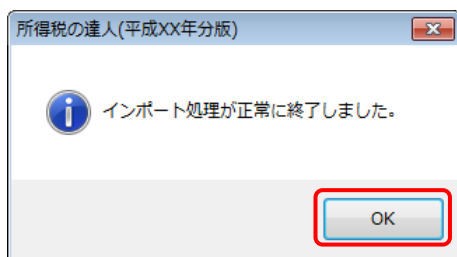
[インポート対象設定] 画面が表示されます。

8. [インポート対象欄]と[インポート対象項目]を設定して(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



終了画面が表示されます。

9. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。データの作成(中間ファイルの作成)が終了すると同時に、「所得税の達人」にデータが取り込まれます。

以上で、データの取り込みは完了です。

パターン②

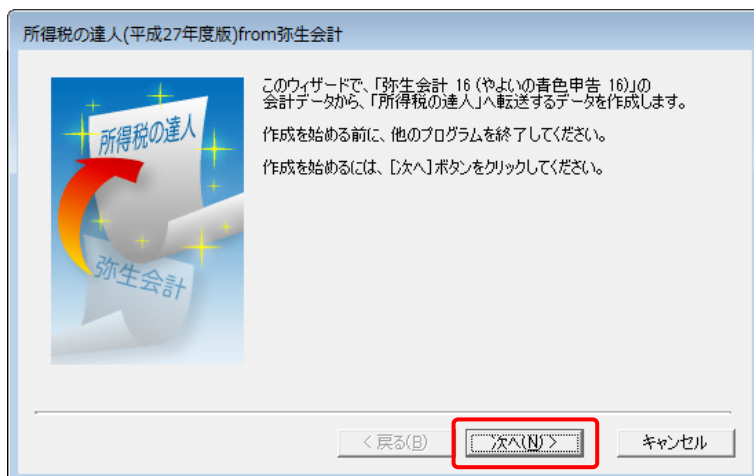
「弥生会計」と「所得税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

1. Windowsのスタートメニュー[すべてのプログラム]―[達人シリーズ]―[連動コンポーネント]―「所得税の達人(平成27年度版)from弥生会計」をクリックします。

[所得税の達人(平成27年度版)from弥生会計] 画面が表示されます。

※ Windows 10 の場合は、Windows のスタートメニュー [すべてのアプリ] ― [達人シリーズ] ― [連動コンポーネント] ― 「所得税の達人(平成27年度版)from 弥生会計」をクリックします。

Windows 8.1 の場合は、[アプリ] 画面に表示されている「所得税の達人(平成27年度版)from 弥生会計」をクリックします。

2. [次へ]ボタンをクリックします。

[データの選択] 画面が表示されます。

3. 「所得税の達人」に取り込む「弥生会計」のデータをクリックして選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

所得税の達人(平成27年度版)from弥生会計

データの選択
「所得税の達人」へ転送する事業所データを選択してください。

① 事業所データ	会計
〇〇 太郎(平成XX年度)(平成XX年度～平成XX年度).KDXX	XX
株式会社 〇〇(XX期～XX期).KDXX	XX

参照先(L)...

< 戻る(B) ② 次へ(N) > キャンセル

[決算書タイプの選択] 画面が表示されます。

4. 「弥生会計」から出力するデータの決算書タイプを選択し(①)、[次へ]ボタンをクリックします(②)。

所得税の達人(平成27年度版)from弥生会計

決算書タイプの選択

① 出力する青色申告決算書のタイプを選択してください。

青色申告決算書(一般用)(1)

青色申告決算書(不動産所得用)(2)

< 戻る(B) ② 次へ(N) > キャンセル

[転送データの作成] 画面が表示されます。

※ 画面は「青色申告決算書(一般用)(1)」を選択しています。

5. [場所]と[名称]を確認して(①)、[作成開始]ボタンをクリックします(②)。

[転送データの作成完了] 画面が表示されます。

※ 画面の[場所]の初期値はOSにより異なります。[C:\Users¥(ユーザー名)\Documents]

又は [C:\Documents and Settings¥(ユーザー名)\My Documents] です。

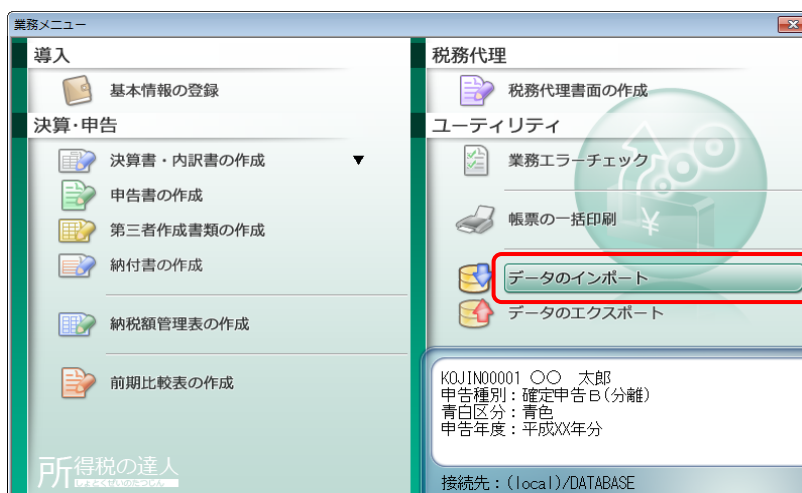
※ [参照] ボタンをクリックして表示される画面から変更できます。

6. [完了]ボタンをクリックします。

手順5で指定した [場所] に、中間ファイルが作成されます。

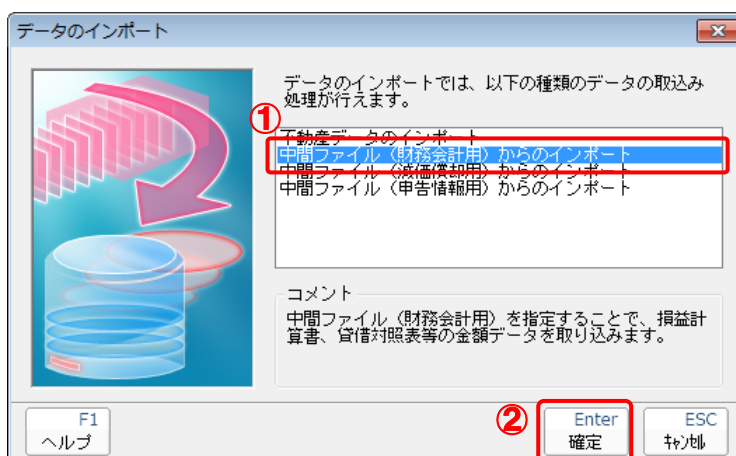
7. 作成された中間ファイルを、USBメモリなどの媒体やネットワークを介して「所得税の達人」がインストールされているコンピュータに移動します。

8. 「所得税の達人」を起動して中間ファイルを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー [データのインポート]をクリックします。



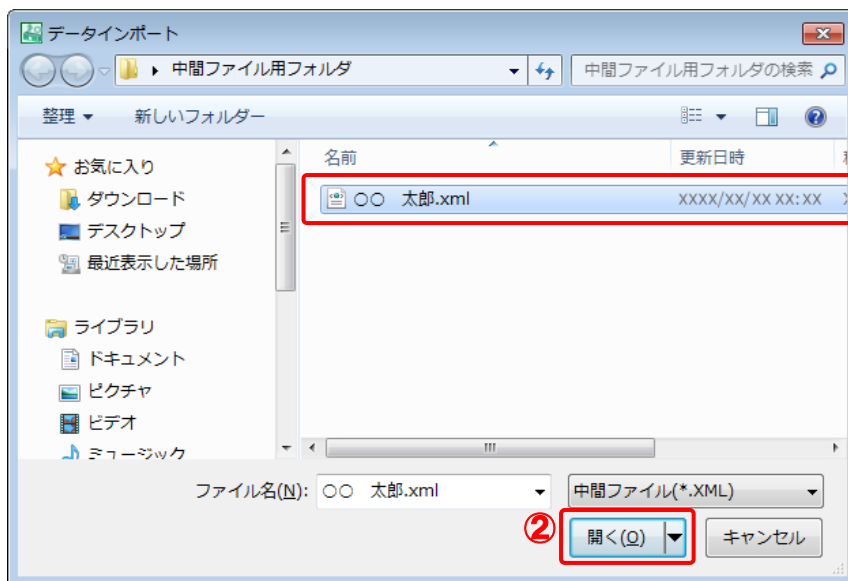
[データのインポート] 画面が表示されます。

9. [中間ファイル(財務会計用)からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



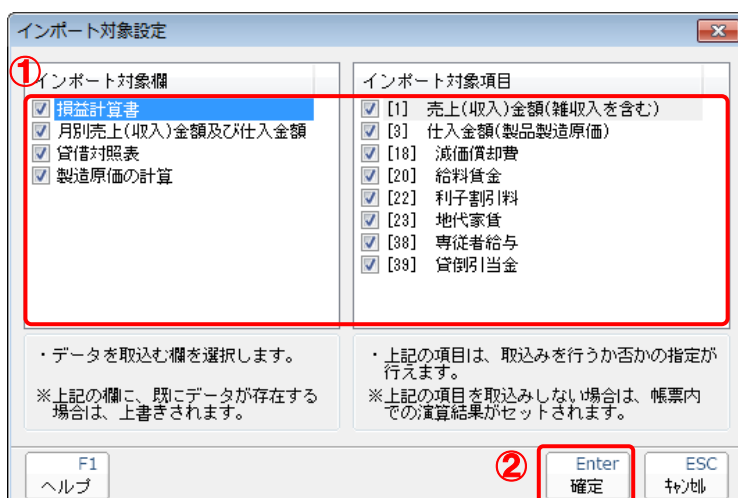
[データインポート] 画面が表示されます。

10. 作成した中間ファイルをクリックして選択し(①)、[開く]ボタンをクリックします(②)。



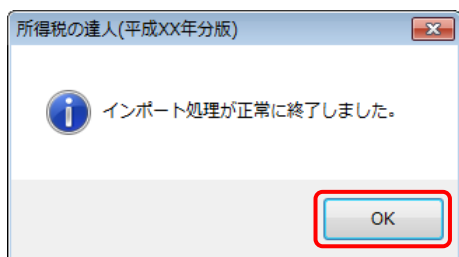
[インポート対象設定] 画面が表示されます。

11. [インポート対象欄]と[インポート対象項目]を設定して(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



終了画面が表示されます。

12. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。

以上で、データの取り込みは完了です。

「所得税の達人」に連動するデータ(連動先)

「所得税の達人」に連動する帳票は以下のとおりです。次ページ以降の各帳票の網掛け部分が連動対象項目です。

青色申告決算書

青色申告決算書(一般用)_営業所得
青色申告決算書(一般用)_その他所得
青色申告決算書(不動産所得用)
青色申告決算書(農業所得用)

収支内訳書

収支内訳書(一般用)_営業所得
収支内訳書(一般用)_その他所得
収支内訳書(不動産所得用)



注意

収支内訳書(農業所得用)には連動しません。

青色申告決算書(一般用)営業所得/其他所得

1ページ

FA0203

平成 年分 所得税青色申告決算書(一般用)

住所	フリガナ氏名	事務所所在地	依頼税理士等
事業所所在地	電話番号(※)	氏名(名物)	電話番号
業種名	屋号	加入団体名	

平成 年 月 日 損益計算書(自 月 日 至 月 日)

提出用 平成二十五年分以降以降用	科 目		科 目		科 目	
	金額	金額	金額	金額	金額	金額
売上(収入)金額(雑収入を含む) ①		酒 類 品 費 ⑮		各 種 引 当 金 ⑳		
原 資 商 品 (製 品) ②		減 価 償 却 費 ⑯		貸 倒 引 当 金 ㉑		
仕 入 金 額 (原 資 商 品) ③		福 利 厚 生 費 ⑰		計 ⑳		
小 計 (②+③) ④		給 料 賃 金 ⑱		専 従 者 給 与 ⑳		
原 資 商 品 (製 品) ⑤		外 注 工 賃 ㉒		貸 倒 引 当 金 ㉑		
差 引 原 価 (④-⑤) ⑥		利 子 割 引 料 ⑳		計 ㉒		
差 引 金 額 (①-⑥) ⑦		地 代 家 賃 ㉓		専 従 者 給 与 ⑳		
租 税 公 課 ⑧		貸 倒 金 ㉔		計 ㉓		
荷 造 運 賃 ⑨		差 引 金 額 (⑦-⑧)		青 色 申 告 特 別 控 除 額 (⑳+㉑-㉔)		
水 道 光 熱 費 ⑩				青 色 申 告 特 別 控 除 額		
旅 費 交 通 費 ㉕				所 得 金 額 (㉓-㉔)		
通 信 費 ㉖						
広 告 宣 伝 費 ㉗						
接 待 交 際 費 ㉘						
損 害 保 険 料 ㉙						
修 繕 費 ㉚						
		差 引 金 額 (⑦-㉚)				

-1-

2ページ

FA0208

平成 年分

フリガナ氏名

提出用 平成二十五年分以降以降用	〇月別売上(収入)金額及び仕入金額		〇給料賃金の内訳					
	月	売上(収入)金額	仕入金額	氏 名	年齢	従事月数	支給額	所得税及び復興特別所得税の課税額
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
家賃 雑収入								
計								

〇貸倒引当金繰入額の計算 (この計算に当たっては、「決算の手引き」の「貸倒引当金」の項を参照してください。)		〇青色申告特別控除額の計算 (この計算に当たっては、「決算の手引き」の「青色申告特別控除」の項を参照してください。)	
金額	金額	金額	金額
① 前年評価による本年分繰入額 (前年評価による繰入額を前年評価の繰入額に引き上げてください。)		① 本年分の不動産所得の金額(青色申告特別控除額を差し引く前の金額)	
② 本年における一新評価による貸倒引当金の繰入れの増減となる貸倒引当金の合計額 (増は+、減は-)		② 青色申告特別控除前の所得金額(ページの「損益計算書」の④欄の金額を写してください。)	
③ 本年分繰入額 (①+②)		③ 65万円の青色申告特別控除額 (65万円と④のいずれか少ない方の金額)	
④ 本年分繰入額		④ 65万円と⑤のいずれか少ない方の金額 (65万円と⑤のいずれか少ない方の金額)	
⑤ 本年分の貸倒引当金繰入額 (③+④)		⑤ 10万円と⑥のいずれか少ない方の金額 (10万円と⑥のいずれか少ない方の金額)	

(注) 貸倒引当金、専従者給与や3ページの割増(特別)賃金以外の特典を利用する人は、適宜の用紙にその詳細を記載し、この決算書に添付してください。

-2-

貸借対照表 (資産負債調) (平成 年 月 日現在)

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部			
科 目	月 日 (期首)	月 日 (期末)	科 目	月 日 (期首)	月 日 (期末)		
現金			借入金				
普通預金			未払金				
定期預金			保証金・敷金				
その他の預金							
受取手形							
木収貸貸料							
木収金							
有価証券							
前払金							
貸付金							
建 物							
建物附属設備							
構築物							
船 舶							
工具 器具 備品							
土 地							
借 地 権							
公共施設負担金							
			事業主借				
			元 入 金				
事業主貸			青色申告特別控除 別の所得金額				
合 計			合 計				

◎ 本年中における特殊事情・保証金等の運用状況(借地権の取定に係る保証金などの預り金がある場合には、その運用状況を記載してください。)

平成二十五年分以降採用

(注)「元入金」は、「期首の資産の総額」から「期首の負債の総額」を差し引いて計算します。

青色申告決算書(農業所得用)

1ページ

FA0213

平成 年分所得税青色申告決算書 (農業所得用)

住所	業種名	事務所所在地	
フリガナ	農園名	氏名(名称)	
氏名	電話番号	電話番号	

平成 年 月 日 損益計算書 (自 月 日 至 月 日)

提出用 (平成二十五年分以降用)	収入		経費		貸倒引当金		所得金額	
	科目	金額(円)	科目	金額(円)	科目	金額(円)	科目	金額(円)
	販売金額 ①		作業用衣料費 ⑮		差引金額 ⑯			
	家事消費金額 ②		農業共済掛金 ⑰		(⑱-⑳)			
	雑収入 ③		減価償却費 ⑱		貸倒引当金 ㉑			
	小計(①+②+③) ④		荷造運賃手数料 ㉒		繰戻引当金 ㉓			
	農産物の		雇人費 ㉔		計 ㉕			
	棚卸高		利子割引料 ㉖		専従者給与			
	期首 ⑤		地代・賃借料 ㉗		貸倒引当金 ㉘			
	期末 ⑥		土地改良費 ㉙		計 ㉚			
	計 (④-⑤+⑥) ⑦		雑費 ㉛		青色申告特別控除額 (㉛+㉜-㉝)			
	租税公課 ⑧		小計 ㉞		青色申告特別控除額 (㉞+㉟-㊱)			
	種苗費 ⑨		農産物以外		所得金額 (㊲-㊳)			
	雑産費 ⑩		の棚卸高					
	肥料費 ⑪		期末 ㉟					
	餌料費 ⑫		延算から差し引く差引					
	農具費 ⑬		平年等の売上費引 ㊴					
	農薬衛生費 ⑭		計 (㉞+㉟-㊴) ㊵					
	諸材料費 ⑰							
	修繕費 ⑱							
	動力光熱費 ㉑							

⑱のうち、両用牛について特別の適用を受ける金額
●青色申告特別控除については、「決算の手引き」の「青色申告特別控除」の項を讀んでください。
●下の欄には、書かないでください。

4ページ

貸借対照表 (資産負債調) (平成 年 月 日現在)

提出用 (平成二十五年分以降用)	資産の部			負債・資本の部		
	科目	月日(期首)	月31日(期末)	科目	月日(期首)	月日(期末)
① 貸倒引当金繰入額の計算(現金主義によっている人)	現金			買掛金		
② 貸倒引当金繰入額	普通預金			借入金		
③ 貸倒引当金繰入額	定期預金			未払金		
④ 貸倒引当金繰入額	その他の預金			前受金		
⑤ 貸倒引当金繰入額	売掛金			預り金		
⑥ 貸倒引当金繰入額	未収金					
⑦ 貸倒引当金繰入額	有価証券					
⑧ 貸倒引当金繰入額	農産物等					
⑨ 貸倒引当金繰入額	木収穫農産物等					
⑩ 貸倒引当金繰入額	完成品の果樹					
⑪ 貸倒引当金繰入額	育成中の牛馬等					
⑫ 貸倒引当金繰入額	肥料その他の貯蔵品					
⑬ 貸倒引当金繰入額	前払金					
⑭ 貸倒引当金繰入額	貸付金					
⑮ 貸倒引当金繰入額	建物・構築物			貸倒引当金		
⑯ 貸倒引当金繰入額	農機具等					
⑰ 貸倒引当金繰入額	果樹・牛馬等					
⑱ 貸倒引当金繰入額	土地					
⑲ 貸倒引当金繰入額	土地改良事業					
⑳ 貸倒引当金繰入額	土壌改良費					
㉑ 貸倒引当金繰入額	事業主借					
㉒ 貸倒引当金繰入額	元入金					
㉓ 貸倒引当金繰入額	事業主貸			青色申告特別控除		
㉔ 貸倒引当金繰入額	合計			前年の所得金額		
㉕ 貸倒引当金繰入額	合計			合計		

(注) ①、②の金額は、それぞれを1ページの⑮、⑱の欄に移動してください。(注) 「元入金」は、「期首の資産の総額」から「期首の負債の総額」を差し引いて計算します。

収支内訳書(一般用)営業所得/その他所得

1ページ

FA0303

平成 年 収支内訳書(一般用) (あなたの本年分の事業所得の金額の計算内容をこの表に記載して確定申告書に添付してください。)

住所 フリガナ氏名 事務所所在地
 事業所所在地 電話番号 (事務用) 氏名(名称)
 業種名 加入団体名 電話番号

平成 年 月 日 (自 月 日 至 月 日) 番号

提出用
平成二十五年度以降用

この収支内訳書は機械で読み取りますので、黒のボールペンで書いてください。

科目	金額(円)	科目	金額(円)
売上(収入)金額 ①		旅費交通費 ⑤	
家事消費費 ②		通信費 ⑥	
その他の収入 ③		広告宣伝費 ⑦	
計 (①+②+③) ④		接待交際費 ⑧	
高買商品(製品)増取 ⑤		損害保険料 ⑨	
仕入金額(買掛金) ⑥		修繕費 ⑩	
小計(⑤+⑥) ⑦		消耗品費 ⑪	
高買商品(製品)増取 ⑧		福利厚生費 ⑫	
差引金額(⑦-⑧) ⑨		雑費 ⑬	
差引金額(④-⑨) ⑩		小計(⑤-⑬) ⑭	
給料賃金 ⑪		事業所得の所得金額(⑩-⑭) ⑮	
外注工賃 ⑫		専従者控除(⑮-⑯) ⑯	
減価償却費 ⑬		所得金額(⑮-⑯) ⑰	
貸倒金 ⑭			
地代家賃 ⑮			
利子割引料 ⑯			
その他 ⑰			
租税公課 ⑱			
荷造運賃 ⑲			
水道光熱費 ⑳			

○給料賃金の内訳

氏名(年齢)	従事月数	給料賃金	合計	所得税及び復興特別所得税の源泉徴収税額
(歳)				
(歳)				
(歳)				
その他(人分)				
計				

○税理士・弁護士等の報酬・料金の内訳

支払先の住所・氏名	本年中の報酬等金額	このうち必要経費等金額	事業所得の金額

○事業専従者の氏名等

氏名(年齢)	続柄	従事月数	専従者控除
(歳)			
(歳)			
(歳)			

【税務署整理欄】

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	
⑭	
⑮	
⑯	
⑰	
⑱	
⑲	
⑳	

-1-

7.アンインストール方法

「所得税の達人（平成27年度版）from弥生会計」をコンピュータからアンインストールするには、以下の手順で行います。



注意

アンインストール作業中に [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されることがあります。その場合は [はい] ボタンをクリックして作業を進めてください（必要に応じてパスワードを入力します）。

1. Windowsのスタートメニュー[コントロールパネル]をクリックします。

[コントロールパネル] 画面が表示されます。

※ Windows 10 の場合は、Windows のスタートボタンを右クリックし、表示されるメニューから [コントロールパネル] をクリックします。

Windows 8.1 の場合は、[アプリ] 画面に表示されている「所得税の達人(平成 27 年度版) from 弥生会計」を右クリックし [アンインストール] をクリックし、手順 3 に進みます。

2. [プログラムのアンインストール]をクリックします。

[プログラムのアンインストールまたは変更] 画面が表示されます。

※ [コントロールパネル] 画面をアイコン表示にしている場合は、[プログラムと機能] をクリックします。

3. [所得税の達人(平成27年度版)from弥生会計]をクリックして選択し、[変更]をクリックします。

[InstallShield Wizard] 画面が表示されます。

4. [次へ]ボタンをクリックします。

[プログラムの保守] 画面が表示されます。

5. [削除]を選択した状態で、[次へ]ボタンをクリックします。

確認画面が表示されます。

6. [削除]ボタンをクリックします。

アンインストールが開始されます。

7. アンインストールの完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「所得税の達人（平成27年度版）from弥生会計」のアンインストールは完了です。

8.著作権・免責等に関する注意事項

『弥生』は弥生株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、SQL Server、Internet Explorer、Outlook、Excel は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Adobe Reader、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載された会社名および製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

本文中、®マークは明記しておりません。

使用許諾契約書に関しては[こちら](#)をご覧ください。

**所得税の達人(平成27年度版)from弥生会計
運用ガイド**

平成28年1月22日初版
